

マーケットの動き（2023年9月11日～9月15日）

先週の国内債券市場は、前週末比で金利は上昇しました（債券価格は下落）。

日銀の植田総裁がマイナス金利解除のタイミングなどに言及したとの一部報道を受け、早期政策修正の可能性が意識され、週初より債券は売られました。12日、14日に実施された5年、20年国債入札が無難な結果となり需給不安が和らいだほか、日銀のマイナス金利政策解除を巡る思惑が後退したとの見方が債券相場を支え、長期金利は上昇幅をやや縮めて週を終えました。クレジット市場は、横ばいで推移しました。

投資環境見通し（2023年9月）

国内長期金利はレンジ内で推移

米国地区連銀主催の国際経済シンポジウムを通過し、国内長期金利の上昇傾向は一服するとみられますが、堅調な米国景気は同国のみならず世界の長期金利の上昇圧力につながるとみられます。国内長期金利はレンジ内で推移するとみています。

	9月15日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%） （変動幅）	0.70	0.06	0.08	0.40	0.46
NOMURA-BPI総合 （騰落率）	366.74	▲0.32%	▲0.52%	▲1.78%	▲2.36%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

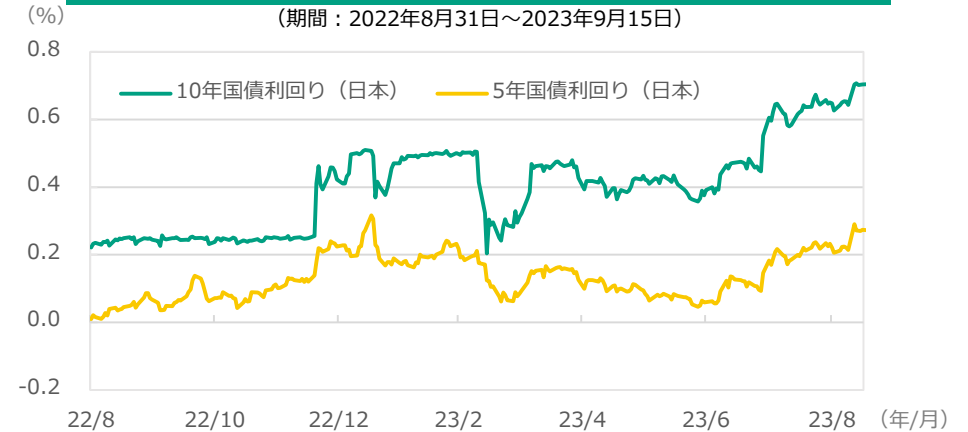
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202309_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日本国債利回りの推移

（期間：2022年8月31日～2023年9月15日）



NOMURA-BPI総合指数の推移

（期間：2022年8月31日～2023年9月15日）



※2022年8月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成